

# 清月記SPECIAL対談 帖佐礼子さんが語る「女性の生き方」

第26回



「グレイハウンド」マークの仙台の老舗タクシー会社、帝産キャブ仙台を運営する帖佐礼子さん。長年、日本舞踊を習い、素敵なお和服姿が、男社会のイメージが強い社内をととても和やかにしています。

## 「人とのつながりを大事にしてほしい」



**菅原 裕典**  
すがわら・ひろのり  
1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とともにすがわら葬儀社設立。89年仙台メモリアルサービス設立、社長就任。2000年工ボックせんだい設立、社長就任。01年社会福祉法人無量壽会理事社長就任。01年せんだい泉工フム放送取締役。01年(株)清月記社長就任。10年宮城学院中学校・高等学校父母教師会会長就任。

**「日本舞踊の稽古中は、瞑想状態のようになります」**

**菅原** 帖佐さんは長年、日本舞踊をなされていると聞いております。今日の和服はとても秋らしい柄で、素敵ですね。  
**帖佐** ありがとうございます。私は一人娘だったので、父が、何でも身につけておいたほうがよいと、母に連れられて三歳の時から習っております。

**菅原** 藤間流の師範ですが、今でも稽古を。  
**帖佐** 私の師匠である秀園先生が高齢のため、秀園師のお師匠さまにあたる秀齊先生のお嬢様の秀扇先生が毎月仙台にお出でになり、三日間のお稽古を続けています。

**菅原** 日本舞踊の良さは何ですか。  
**帖佐** 先生の踊りを見ながら習うのですが、いかに曲を



創生期の帝産キャブ仙台。左が母の美奈子さん。



能を題材とした長唄「熊野」(ゆや)の舞台上。

ています。海外に行きますと、和服を着ているだけで、注目されますし、日本の美しさをそのまま表現できます。帖佐 女性に限らず、日本のことをもっと知ってほしいと思います。

**菅原** 仏壇メーカーの調査によりますと、お仏壇のある家での少年少女の非行率がとても低いという結果が出ていました。正座してご先祖にお線香をあげることが、極端な考えや行動の歯止めになっているのだと思います。

**帖佐** 私たちの時代は、よく文武両道ということ言われました。  
**菅原** お茶、お花、柔道剣道などもすべて「道」、寸分狂わない美しさを持つ日本のものづくりは、この「道」からスタートしていますね。  
**菅原** とこでも、帖佐という性はとても珍しいですね。  
**帖佐** 父の盛雄が鹿角島県始良郡蒲生町出身で、同町では比較的多い姓なのです。昭和4年生まれのお父は、帝産オートに勤務していました。同社は昭和20年の終戦とともにGHQから、車両と修理と運行を命じられ、21年東京銀座に設立されました。前身は、伊豆で金を採掘していた帝産金産です。連合国軍の仙台進駐に伴い仙台支店開設とともに異動し、母美奈子と父は、母方の祖父が陸運局に勤務していた縁で知り合い、結婚し



清月記本社で

ました。  
**菅原** そこから帖佐さんのストーリーが始まるのですね。

**帖佐** 昭和45年、帝産オートから営業譲渡され帝産キャブ仙台として仙台市宮城野町で独立、営業を開始しました。47年には、現在の宮城野区扇町に社屋を移転しています。

私は帝産キャブ仙台で働き、結婚して専業主婦としておりましたが、父から会社をやってみないかと言われ再度入社し、取締役社長室長、管理部長、常務取締役の後、平成20年11月から社長に就任しました。

**菅原** 震災時は大変だったでしょうね。

**帖佐** 社屋はかなり揺れましたが、柳に風といいますが大丈夫でした。幸い人的被害もありませんでした。道路情報がまったくなくて発災2



帖佐 礼子さん  
ちようさ・れいこ

1956年(昭和31年)、仙台市宮城野区元寺小路生まれ。  
●宮城県第一女子高等学校から立教大学経済学部経営学科卒業。(株)帝産キャブ仙台入社。同社取締役管理部長。常務取締役後、社長の父・盛雄氏の後を受けて2008年社長就任。仙台無線タクシー協同組合副理事長

●仙台商工会議所交通運輸部会常任委員、仙台商工会議所女性会常任委員、仙台東警察署協議会委員

●三歳のときから日本舞踊を習い、現在、藤間流師範「藤間宝園」。公益社団法人日本舞踊協会会員

日目の13日から営業を再開しましたが、女子社員もガスタンドに並ぶほど、燃料ガスの確保に苦労しました。ガス価格が高騰して経営的には厳しかったのですが、60%程稼働できました。私の車が立休駐車場に取り残されていたので、従業員に食べてもらおうとリュックサックに手作りのおにぎりなどを入れ、バスで通勤していました。

**菅原** タクシー会社というところ、男性社会というイメージがあります。  
**帖佐** 父が一生懸命育ててきた社員の皆様が私の背中を押してくれたことが、とても大きかったです。

**菅原** 御社のトレードマークのグレイハウンドは、ブランドになっていきます。素晴らしいですね。  
**帖佐** 帝産オートの創始者の考案なのです。そのブランド



大学の「長唄研究会」サークル仲間と。中段右から2番目が帖佐さん。



帖佐家のルーツでもある旧帖佐町のJR日豊本線帖佐駅(現始良市・あいらし)で。左から父の盛雄氏、長男の征一氏、母の美奈子さんと礼子さん。

ドを父も引き継ぎ、絶対汚さないよう頑張ってきました。「公道を使わせていただいで営業している気持ちをもつて」

**菅原** 私の葬祭業では、昔と比較すると様々な面が大きく変化しています。タクシー業界はいかがですか。  
**帖佐** どんなに時代が変わっても、安全安心を第一に、皆様の公道を使い営業させ

ていただいているという気持ちで会社と全従業員が持つサービスに当たっています。  
**菅原** 仙台は地下鉄が2本

も走り、全国から注目されています。その分、ビジネス面では中央大手企業も入り、激しい競争になっています。  
**帖佐** 父が多く素晴らしい従業員を残してくれましたので、その強みを活かして、地元で愛されるタクシー会社として努力して参ります。  
**菅原** 最後に女性のためにメッセージをお願いします。  
**帖佐** やはり、家族、友人、仕事関係の方でも、人とのつながりを大事にすること、これに尽きると思います。  
**菅原** 今後も、ご活躍を期待しております。

**メゾンドリア・フィーユ**  
仙台市青葉区一番町2-7-12 グリーンウッド仙台一番町ビル2F ☎022-714-1122

**Maison**  
青葉通一番町駅から徒歩3分の場所に  
ウェディングレストラン「メゾンドリア・フィーユ」誕生!

来店ご予約受付中 清月記グループ

☎022-714-1122 定休日/毎週火曜日 受付時間/10:00~19:00  
info@ria-feuille.jp 公式Facebook, Instagramにて情報発信中!